

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

JFEケミカル株式会社 西日本製造所 笠岡工場 [福山地区]

## (2) 事業所の所在地

〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地

## (3) 業種

その他有機化学工業製品製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

## 3 計画の基本的な方向

## 理念

当社は、地球環境の向上を経営の重要課題と位置付け、社会と調和した事業活動を推進することにより、豊かな社会作りを目指す。

## 方針

当社は、瀬戸内海国立公園内に位置するという立地条件を考慮し、自然環境・地域との融和をめざした企業活動を推進する。

1. 事業活動における環境影響を認識し、地域の皆様に実感いただける環境改善に取り組む。
2. 環境関連の法律、条例、協定及びその他の環境上の取り決め事項を順守するとともに、省エネルギー、省資源、リサイクルを含む環境汚染の予防に努める。
3. 事業プロセスにおける環境パフォーマンスの向上を図ることで環境負荷の低減を行い、地球環境保護に積極的に取り組む。
4. 全従業員に環境教育を実施し、環境意識の向上に努める。
5. 環境調和型製品の開発・提供によち、社会に貢献する。
6. 環境保全体制強化のため、繰り返しの訓練により継続的な技能伝承を図り、ライン自律型環境管理を推進する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成27年度
二酸化炭素	/	33,204	33,204

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素	/	/	/

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン	/	/	/
一酸化二窒素	/	/	/
HFC PFC SF6	/	/	/

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 装入量(千 t)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	33,204	155	214.54	4.90	31,577	155	204.02
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	33,204	155	214.54	4.9	31,577	155	204.02
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	—	—	116.69	4.9	—	—	110.98
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	精製省エネ蒸気トラップ設置	100tCO2/年 削減	蒸気トラップを省エネ型に変更することで、蒸気ロスを削減する。
2	空燃比調整によるCガス削減	230tCO2/年 削減	酸化鉄粉体特性に問題がないように、空燃比を調整することで、Cガスを削減する。
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

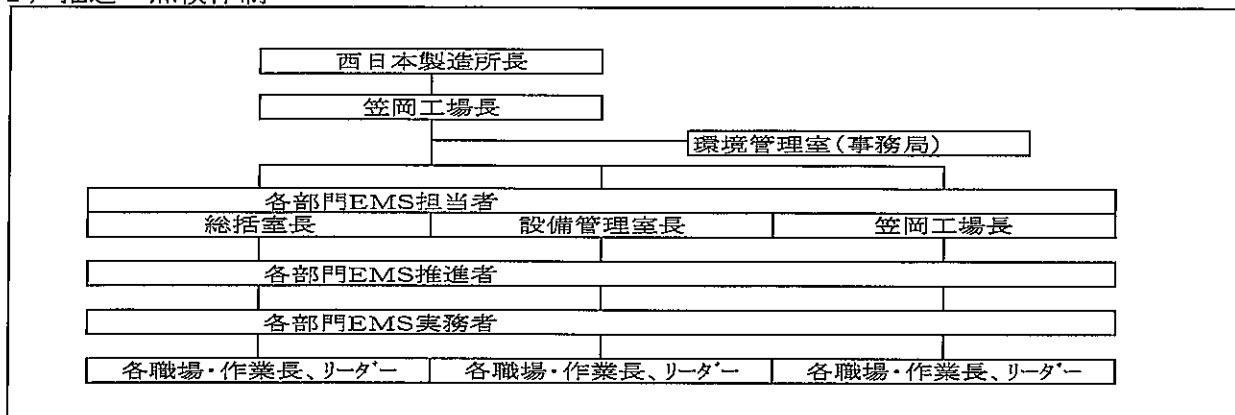
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

総括室技術工務グループ及び環境管理室を中心として、各年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、点検、問題点の検討を行い、環境管理会議の場において定期的に評価、見直し等の継続的な改善を図る。

### (3) 計画書等の公表

当社のホームページに地球温暖化防止への取り組みとして記載する。